

伝え方で損を していませんか？

公開講座

説明力強化セミナー研修

相手に「伝える技術」と「伝わる話し方」を徹底指導し、
劇的に改善する2日間!!

受講者
募集中

概要

対象者 (階層) 新入社員、中堅社員、管理職、経営幹部クラスなど
(職種) 営業職、窓口、S E など、説明が求められる職種はすべて

日程 【日程1】 2018年 ~~2月22日(木)・23日(金)~~ 終了しました
【日程2】 ~~7月12日(木)・13日(金)~~ 終了しました
【日程3】 ~~11月15日(木)・16日(金)~~ 終了しました
【日程4】 2019年 2月14日(木)・15日(金)

時間 両日とも10:00~17:00

会場 話し方研究所 セミナールーム

費用 64,800円 (税込、昼食込)



最寄駅

日比谷線・都営浅草線「人形町駅」A5出口から徒歩3分
(品川駅から16分、上野駅から6分)
銀座線「三越前駅」から徒歩10分

本研修の狙い

「伝える技術」が注目を集めています。顧客へ商品・サービスを説明する設計者、ソリューション営業を行う担当者、部門等の方針を説明しメンバーを動かしていくリーダー、上司へ業務報告をする部下など、あらゆる人、場面において、「伝える技術=説明力」が求められます。しかし現実、「何が言いたいのかわからないと言われる」「誤解される」「反発される」「クレームになってしまう」ということが、まま起きています。このようなことを回避すべく、本講座を企画しました。自身の日頃の説明を見直し、わかりやすい説明能力の習得を目指して数多くの実習に取り組んでいただきます。大抵の方が「どう話すか」というところに陥りがちで、自身の話が「どう聞かれるか」という視点に立っていません。説明を相手中心に見据え、「伝える≠伝わる」の意識向上・スキルの定着を目指します。

ここがおすすめ！

- **実習中心の参加型研修**
トライ&エラーを繰り返して、説明上手へ導きます
説明力向上には、まず自身の現状レベルを知り、問題点(課題)に気づくことが重要です。課題克服のために繰り返しトレーニングを積み、スキル定着を図ります。
- **少人数制+講師2名体制**
当社トップ講師から個別アドバイスが受けられます
同じ講義や実習を経験しても、受講者によって問題や課題意識はそれぞれ異なります。本セミナーは、講師2名体制で実施し、個別アドバイスをする時間を多く設けています。
- **事前アンケートを実施**
講師が参加者の特性を掴み、講義やコメントに反映します
「本セミナーで学びたいこと」「日頃感じている疑問点や悩み」など、事前アンケートをとり、個別情報を講師が把握。個々の特性や全体傾向を掴み、指導や全体解説時に、より具体的なフィードバックを行います。

お問い合わせ

TEL・FAX (裏面表紙) 又はEメールでお申込みください。

株式会社 話し方研究所

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-10-16 第8センタープラザ7階

TEL. 03-5649-0874 FAX. 03-5649-1874

Mail info@cns.hanashikata.co.jp
URL http://www.hanashikata.co.jp
担当 営業部

研 修 内 容

1日目

○講師自己紹介と研修の流れを説明

① わかりやすく話すための前提条件

・説明の基本を理解する

実習 伝達ゲーム

伝えることの難しさを体験する

② 伝える技術と関係性の原理

・一方的な伝達から相手に応じて伝達へ

実習 ウォーミングアップ 説明トレーニング

自身の現状レベルをチェックする

③ 説明のスキルⅠ・Ⅱ

・全体像を示す、理由根拠の提示
・主題の明確化、順序・配列を整える
・説明内容の構成法

実習 説明トレーニングⅠ

要点を整理し、伝えるトレーニング

④ 組み換えの意義と応用

実習 説明トレーニングⅡ

Ⅰのコメントをもとに、話を再構成する

2日目

○1日目の復習と2日目の予告

⑤ 説明のスキルⅢ

・対比して強調する
・指標、数値（データ）の示し方

実習 説明トレーニングⅢ

比較話法

⑥ 説明のスキルⅣ

・批判や反対意見を盛り込み
・例を挙げてわからせる

実習 説明トレーニングⅣ

魅力を伝えると同時に抵抗感への理解を示す

実習 ディスカッション

“優れた説明”とは⇒メンバーと共有

⑦ 説明から説得へ

・優れた説明はそれで自体で説得力を持つ

実習 レビュー

学んだことを実践にどう生かすか

お申込み用紙

FAX 03-5649-1874

下記必要事項を記載のうえ、ご送信ください

企業名		
受講者名①		
受講者名②		
受講者名③		
派遣責任者		
電話番号/FAX	電話番号	FAX
メールアドレス		
請求書送付先	所在地：〒 - お宛名：	お名前：
	所属：	
希望連絡方法	電話（固定電話 / 携帯電話） ・ メール ・ FAX	
メモ		